

現況と課題

児童・生徒数は2013年(平成25年)5月時点、小学生10,775人、中学生5,161人、幼稚園児193人で、地域差があるものの今後も全市的には減少する見込となっています。

近年、ゆとり教育からの転換や、国の幼保一体化の方針を受け、全国的に、学校教育、就学前教育のあり方は大きく変化しています。また、体罰やいじめ問題など、全国的に学校教育へ厳しい目が向けられており、今後も学校だけでなく家庭や地域と一層協力し、子どもを育てる教育力を強化していく必要があります。

2012年(平成24年)度から全小・中学校で小中一貫教育を実施し、パイロット校的役割を担う施設一体型の宇治黄檗学園(宇治小学校・黄檗中学校)を設置しました。9年間を見通した系統的、継続的な指導によって、児童・生徒の確かな学力や社会的な資質などの育成を図っています。小中一貫教育に対する保護者の期待も大きく、今後、成果を検証しながら取組の改善につなげる検討が必要となります。

さらに、これまでの「宇治市教育ルネッサンスプラン」「宇治市青少年プラン」「宇治市生涯学習推進プラン(宇治まなびAIUEOプラン)」の成果を踏まえ、2013年(平成25年)度に「宇治市教育振興基本計画」を策定し、これを本市独自の教育施策の指針として本市が目指す人間像(①宇治の自然、歴史、文化を守り育て「ふるさと宇治」をつくる人 ②地域や社会と協働し、世界に誇る「あすの宇治」をつくる人)の育成を目指します。

教育のさらなる充実に向けては、教職員の意識改革と資質・指導力の向上は不可欠であり、教職員研修も引き続き充実を図るとともに、子どもへのきめ細かい対応のために学校現場へのサポート体制の強化を検討していきます。

また、今後ますますの少子化が進むと見込まれる中、より良い教育のため、学校規模の適正化や校区再編の検討を行うとともに、国や京都府の学級編成基準等に沿うよう対応していく必要があります。

目標

確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体のバランスの取れた「生きる力」を育むため、小中一貫教育の推進をはじめ、教育内容の充実を図ります。

目標値・指標値

	現状値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備考
高等学校等への進学率	99.2%	京都府平均以上	→	
中学校1年生の不安割合	27.4% (平成25年度 数値)	25%以下	↘	小中一貫教育についてのアンケート、設問(3)1~7「そう思う」「大体そう思う」と答えた中学1年生の平均割合

取組の方向

1 小中一貫教育の推進

家庭との連携や地域人材の活用も図りながら、児童・生徒の確かな学力、豊かな人間性、健康・体力など、「生きる力」を育むため、引き続き義務教育9年間を見すえた小中一貫教育を推進します。

2 豊かな人間性を育む学校教育の充実

学力の向上とともに、児童・生徒の豊かな人間性を育むため、地域特性を活かした「宇治学」、人権教育、特別支援教育や道徳教育などの学校教育の充実を図ります。

3 健康安全教育・給食の充実

児童・生徒の健康保持・増進や食育の推進を図るため、健康安全教育や食に関する指導の充実に努めるとともに、引き続き中学校での昼食提供等を行います。

4 教職員の意識改革と指導力の向上

国際化・高度情報化等変化の激しい社会や新しい教育ニーズに的確に対応するため、京都府教育委員会と連携して教職員研修の充実を図ります。

5 就学援助・就園助成の実施

義務教育の機会を保障するため、経済的理由による就学困難者への就学援助等を行います。また、経済的負担軽減と幼稚園教育の振興を図るため、私立幼稚園就園助成を行います。

6 学校規模等適正化の推進

学校規模等適正化を推進し教育環境の充実を図るため、「教育振興基本計画」に沿って校区の再編や学校の統廃合を検討します。

7 学校現場へのサポートの強化

教員が幼児、児童・生徒に向き合う時間をより一層確保するため、学校現場へのサポート体制を強化します。



宇治中学校イメージパース

関連部門計画

- 宇治市教育振興基本計画
- 宇治市小中一貫教育と学校規模等適正化の方向 ～NEXUS(ネクサス)プラン～

現況と課題

「学校施設の耐震化方針」に沿って、児童・生徒の安全を守る最優先課題として、2007年（平成19年）度から補強工事を行っており、学校施設の耐震化率は、2012年（平成24年）度末で90.8%、2013年（平成25年）度末見込では98.7%となっています。一部改築等を行う学校の耐震化を引き続き進めており、早期に全ての学校施設の耐震化を図る必要があります。

児童・生徒の学習環境の向上のため、耐震化が完了した学校から空調機の設置を計画的に行っており、トイレ・ライフライン改修等の大規模改修についても整備を行っています。今後も施設の老朽化に対応して、さらなる学習環境の維持・向上を図る必要があります。

また、近年の急速な高度情報化に対応するため、これまでから学習環境のICT化を進めてきました。整備した環境を十分に活用するため、教職員の研修を継続するとともに、児童・生徒に対しては情報モラル等正しいICT活用を指導する必要があります。

目標

児童・生徒の安全を守り、学習に集中できる環境を構築するため、学校施設の整備・修繕を行います。また、高度情報化に対応した学校教育のICT化を推進するための整備を行うなど、学校教育環境の充実を図ります。

目標値・指標値

	現状値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備考
学校施設の耐震化率	90.8%	100%	100%	
学校施設の空調機設置率 (普通教室)	71.9%	100%	100%	
学校の環境整備	—	↗	↗	

取組の方向

1 耐震化の推進

児童・生徒の震災時の安全を確保するため、耐震力の低い学校施設の耐震化の完了を早期に実現します。

2 学校施設環境の充実

児童・生徒の安全を確保し、円滑な学習を進めるため、学校施設の維持・修繕を行うとともに、老朽化対策等の大規模な施設整備や更新を計画的に進めます。

3 学校教育のICT化の推進

高度情報化社会に対応した教育を推進するため、パソコン・LAN設備等の再整備や、普及・活用のための環境整備を推進します。

4 小中一貫校の検討

小中一貫教育を推進するため、学校規模等の適正化や校区の再編とあわせて、小中一貫校の整備について検討します。



校舎の耐震補強の様子

関連部門計画

- 宇治市教育振興基本計画
- 学校施設整備計画
- 学校施設の耐震化方針

現況と課題

将来を見通したまちづくりにとって、次代を担う青少年の健やかな成長は重要です。本市内では、青少年による非行や社会への不適応、さらに虐待やいじめなどの問題が深刻化している状況となっています。その要因として、少子高齢化、家族規模の縮小、都市化、情報化の進行に伴う人と人とのふれあいの希薄化によって、青少年の人格形成を育む社会機能の脆弱化を招き、家庭・地域の教育力が低下しているのではないかと考えられます。さらに、全国的に非行や少年犯罪の低年齢化傾向が続いており、本市内でも未成年者による犯罪が低年齢化する傾向があります。これまでの不登校対策の取組により、不登校児童・生徒数は小学校で横ばい、中学校で減少傾向となっていますが、依然全国平均を上回っており、引き続き積極的に取り組んでいく必要があります。また、近年のインターネットやICTツールの急速な普及・発達によって、青少年の人間関係を構築する環境は急速に変化しており、適切な対応が求められています。

児童・生徒、青少年の健全育成を推進するためには、規範意識や社会性の育成を図る粘り強い指導や、当事者への直接の支援とともに、家族や友人、教職員など周りの人達と協力してサポートする体制づくりが必要です。

子ども、青少年の「生きる力」を育むために、家庭・地域・学校・職場・関係機関等が連携し、社会全体での支援へとつなげるため、地域に根差した特色ある教育活動や、様々な経験を積んだ地域人材の活用が求められます。さらに、2012年(平成24年)の「子ども・子育て関連3法」や、2013年(平成25年)の「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の成立を受け、子どもを取り巻く社会環境の変化や大きな制度改革などを踏まえて、多様化する保護者ニーズに応えながら総合的な教育・子育てを進める必要があります。

目標

子ども、青少年がたくましく心豊かに、また地域社会の一員として創造性豊かで協調性のある人間として成長できるよう、教育と福祉の連携のもと、家庭・地域等と協力し、多方面からの総合的な教育に取り組めます。

目標値・指標値

	現状値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備考
問題行動実人数の率 小学校	3.59%(390人)	↘	↘	
問題行動実人数の率 中学校	13.02%(667人)	↘	↘	
不登校児童出現率 小学校	0.48%(52人)	↘	↘	
不登校生徒出現率 中学校	3.22%(165人)	↘	↘	

取組の方向

1 家庭・地域と連携した子ども・青少年の健全育成

社会全体での子育てや青少年の健全育成を進めるため、家庭・地域・学校・関係機関等での連携を強化し、きめ細かい支援や教育力の向上を図る体制を構築します。

2 青少年非行防止活動の推進

非行・問題行動を未然に防止するため、関係機関と連携して補導や啓発活動・相談活動を実施します。

3 不登校児童・生徒への対応

不登校となっている児童・生徒の登校を促すため、相談員を派遣するとともに、適応指導教室等を実施します。

4 指導者・関係団体の育成・支援

次世代を担う青少年を育成するため、指導者・関係団体の育成・支援を行います。

5 青少年支援拠点のあり方の検討

青少年に関する様々な問題に対応するため、総合的な支援拠点のあり方について引き続き検討します。

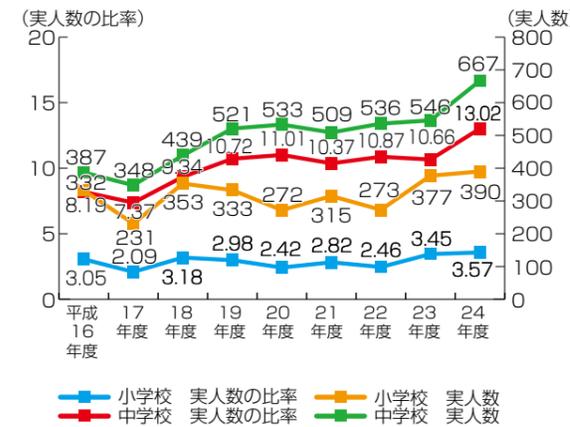
6 多様化する就学前教育ニーズへの対応

多様化する就学前教育のニーズに対応するため、国の動向を十分に踏まえ、教育と福祉の連携のもと、効果的な就学前教育を推進します。

7 学校と関係機関等との円滑な連携の推進

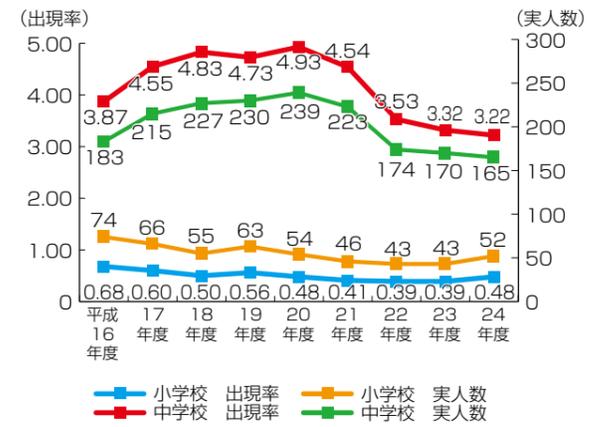
学校等だけでは解決が困難な事象について、関係機関等との連携により問題の解決が図れるように、学校現場への指導・助言を行います。

1 児童・生徒の問題行動実人数の率



年度	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校 実人数の比率	3.05	2.09	3.18	2.98	2.42	2.82	2.46	3.45	3.57
小学校 実人数	332	231	353	333	272	315	273	377	390
中学校 実人数の比率	8.19	7.37	9.34	10.72	11.01	10.37	10.87	10.66	13.02
中学校 実人数	387	348	439	521	533	509	536	546	667
実人数合計	719	579	792	854	805	824	809	923	1,057

2 不登校児童・生徒の出現率



年度	平成16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
小学校 出現率	0.68	0.60	0.50	0.56	0.48	0.41	0.39	0.39	0.48
小学校 実人数	74	66	55	63	54	46	43	43	52
中学校 出現率	3.87	4.55	4.83	4.73	4.93	4.54	3.53	3.32	3.22
中学校 実人数	183	215	227	230	239	223	174	170	165
実人数合計	257	281	282	293	293	269	217	213	217

関連部門計画

●宇治市教育振興基本計画

現況と課題

近年、ライフスタイルの多様化、ICTの発達による高度情報化や国際化の進展など社会環境は大きく変化しており、真の豊かさや自己実現を求めて様々な学習活動が活発に展開されています。

本市でも、公民館、図書館での講座開催や様々な資料提供など、多岐にわたる事業を実施し、幅広い学習支援に取り組んできました。

青少年センターでは、学びや遊びの機会提供や、地域と協働した子どもの体験学習など、子どもが生涯を通じて学ぶことを身に付けられるよう各種事業を展開してきました。総合野外活動センターでは、参加型事業から参加者同士が交流を深められる参画型事業を目指して、幅広い年齢層の野外活動を通じた生涯学習を推進しています。

2011年（平成23年）度には、「宇治市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）」を策定し、子どもの自主的な読書活動の推進に取り組んでいます。図書館での年間総貸出冊数は、児童書を含め、2010年（平成22年）度から3年連続で減少していることから、対策を検討するとともに、本を貸し出すだけでなく、利用者が図書館に滞在し、知識や情報を得る場としての機能が求められています。

また、学校・家庭・地域・行政が協力、協働して子どもの居場所づくりの支援等を実施していますが、地域ぐるみで子どもを育てるためのまち全体での活動には至っておらず、より多くの市民が積極的に関与する環境づくりを進めることが重要です。

さらに、様々な活動への参加者を発掘・育成し、多くの市民が諸活動に参加できるよう努めなければなりません。人材バンクをはじめ、多様な人材を活用し、市民ニーズを捉えながら学習活動で習得した知識・技術を、学校教育や地域・社会に還元できる方策が求められます。そのためには、仕事と生活を両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの実現も促進していく必要があります。

2013年（平成25年）度には、本市が目指す人間像（①宇治の自然、歴史、文化を守り育て「ふるさと宇治」をつくる人 ②地域や社会と協働し、世界に誇る「あすの宇治」をつくる人）の育成を目指し、これまでの「宇治市生涯学習推進プラン（宇治まなびAIUEOプラン）」を含めた教育のプランを発展させた「宇治市教育振興基本計画」を策定しました。高度化、多様化する学習ニーズに的確に対応し、市民・関係団体と行政の協働のもと、市民の主体的、自発的な活動が社会に還元される仕組みづくりを進める必要があります。

目標

市民の自主的、自発的な学習活動を促進するため、関係機関・団体等と連携を図りながら生涯学習のニーズに対応し、市民の経験や習得した学習成果を地域・社会に還元できる仕組みづくりを進めます。



中央図書館「宇治市子ども読書の日特別図書展示 やさしい古典のお話」



中央図書館「朗読で楽しむ宮沢賢治の世界」

目標値・指標値

	現状値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備考
総合野外活動センターの 来場者数	97,870人	102,000人	↗	
生涯学習センター・公民館 事業に参加協力する市民団体数	226団体	250団体	↗	
人材バンクの利用率	25.5%	30%	↗	
図書館の年間総貸出冊数	853,516冊	960,940冊	↗	

取組の方向

1 生涯学習推進体制の充実

高度化、多様化する生涯学習ニーズに対応し、自主的な学習活動を促進するため、効果的な情報発信や市民の知識・技術・経験を社会に還元できる仕組みづくりに努めます。

2 家庭・地域社会の教育力の向上

家庭教育の充実と地域社会の教育力の向上を図るため、子どもの居場所づくりを推進するなど、家庭・地域と学校が協力、協働して取り組みます。

3 生涯学習センター・公民館活動の充実

地域での生涯学習活動を促進するため、生涯学習センター・公民館等では市民とともに事業の充実に努めます。また、宇治公民館のあり方を検討し、整備を進めます。

4 ICT技術を活用した生涯学習の推進

多様な学習ニーズに対応するため、市民と協働して、インターネットやデジタルデータを活用した、いつでもどこでも誰でも様々な方法で学習ができる環境を整備します。

5 読書活動の推進、図書館の充実

読書活動の推進を図るため、ライフステージや多様な利用者・ニーズに応じた利用しやすい図書館サービスの充実に努めるとともに、子どもの自主的な読書活動を促進する取組を進めます。

6 青少年センター活動の充実

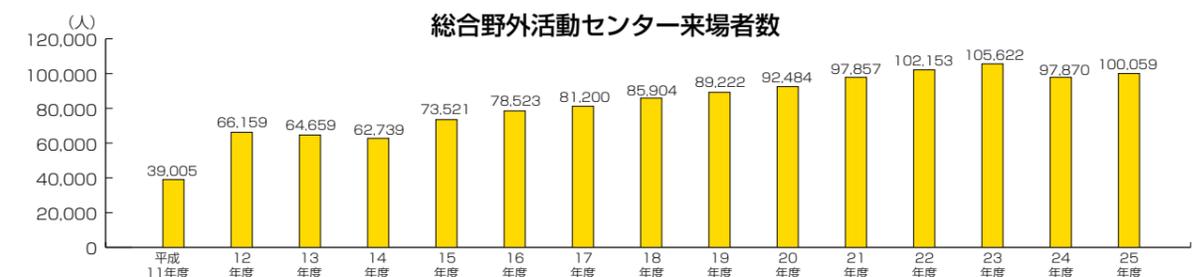
青少年の教育文化の向上と健全育成を図るため、青少年センターでの各種事業の充実に努めます。

7 総合野外活動センターの充実

「自然とふれあい、自然のなかでの交流」を進めるため、センターの施設を管理運営し、野外活動、レクリエーション、スポーツ活動などを行います。

8 ワーク・ライフ・バランスの充実

市民が豊かな生涯を送るため、仕事と生活の調和を目指して、様々な生涯学習活動への参加・参画を促進するよう時代に対応した事業の展開を図ります。



関連部門計画

●宇治市教育振興基本計画 ●宇治市生涯学習基本計画 ●宇治市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）

現況と課題

スポーツ・レクリエーション活動は、幼児から高齢者まで各層にわたって、ストレス・運動不足の解消、健康・体力づくり、友人・仲間との交流や家族とのふれあいなど、重要な役割を果たしています。

本市では、関係団体等と連携して、多くの市民にスポーツ・レクリエーションの機会を提供しています。

スポーツ・レクリエーションの環境整備としては、黄檗体育館、西宇治体育館、総合野外活動センター、グラウンド・ゴルフ場などの施設整備や、学校体育施設の開放などに努めてきました。

効果的な修繕・補修によりそれら施設の長寿命化に取り組んできましたが、施設の老朽化が進んでおり、今後は計画的な改修の検討が必要となります。

また、各種団体等でも積極的な活動が展開されていますが、市内の運動施設に限られており、より多くの市民が利用できるよう運営の工夫が必要です。

今後も指導者・スポーツボランティアの育成や、スポーツ・レクリエーション情報の提供に努め、総合型地域スポーツクラブに関する支援を行うなど、市民が年齢や技術・体力に応じて楽しめる条件整備が求められます。

さらに、スポーツ・レクリエーションに対する市民ニーズを捉え、健康とコミュニティづくりの場として充実を図る必要があります。特に高齢者が楽しめるスポーツ・レクリエーションは健康寿命の延伸に有効であり、高齢者施策と連携した効果的な取組が必要となります。

これまでは2008年（平成20年）度に策定した「宇治市スポーツ振興計画（ASEプラン）」に沿って様々な事業を推進し、スポーツを「する・ささえる・しる」土壌づくりを行ってきました。現計画が中間年に達したこと及び「スポーツ振興法」が「スポーツ基本法」に改正されたことを踏まえて、2014年（平成26年）度に見直しを行う予定としています。

目 標

スポーツ・レクリエーションに対するニーズに対応するため、各種事業の実施や普及・啓発を図るとともに、関係団体等と連携しながら、市民の主体的な活動を支援し、スポーツ活動における成果が地域コミュニティの発展等、幅広い効果をもたらすことができるよう、「スポーツ文化」の定着を目指します。

目標値・指標値

	現 状 値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備 考
市の主催等による各種 スポーツ大会・教室・ ひろば等参加者数	42,373人	↗	↗	
成人で週1回以上 スポーツをする人の割合	30.3%	↗	65%（※）	※国のスポーツ基本計画の 目標値

取組の方向

1 スポーツ・レクリエーションの機会の提供

市民が気軽にスポーツを楽しむ機会を増やすため、ニュースポーツの教室や講習会などを開催します。

2 指導者等の育成、関係団体等への支援

市民・地域の自発的、自主的なスポーツ活動を促進するため、また地域コミュニティの発展や子どもから高齢者までの世代間交流の一助となるよう、様々な世代の指導者・スポーツボランティアの育成や関係団体等への支援を行います。

3 スポーツの場の充実

市民に身近なスポーツの場を確保するため、公園・緑地の整備と連携して施設の充実・有効活用を図ります。

4 スポーツ情報の提供

スポーツを生活の一部として取り込み、スポーツライフを楽しむため、スポーツに関する様々な情報発信の充実を図ります。



各種スポーツ 活動の様子



各種スポーツ 活動の様子

関連部門計画

- 宇治市教育振興基本計画
- 宇治市生涯学習基本計画
- 宇治市スポーツ振興計画（ASEプラン）

現況と課題

歴史資料館では、貴重な歴史資料を後世に伝えていくべく適切な管理を行うとともに、広く市民へ公開し、郷土愛の醸成と先人からの知恵と教訓を学ぶ機会の創出に努めています。

また、より多くの人に宇治の歴史・文化を理解してもらうため、行政以外の様々な団体と連携した催しを模索しています。今後も館での展示だけでなく、学校での児童・生徒の郷土学習支援を行うとともに、他の施設や団体などと協力して幅広い学習活動を継続していきます。

源氏物語ミュージアムでは、宇治市が舞台となった源氏物語の世界を感じることができる資料展示等を行い古典文化の普及に努めています。入館者数は、2012年（平成24年）度で延べ99,436人となっていますが、宇治上神社・平等院鳳凰堂の修理、宇治公園の改修による観光客数減少の影響を受け、引き続き2013年（平成25年）度も減少しています。初めての来館者が多数を占めているため、事業の周知・広報を充実させ、リピーターの確保も図っていく必要があります。

入門・連続講座は人気がある反面、参加者が固定化する傾向があり、より多くの人に参加してもらうため、体験型のイベントや事業を積極的に増やしていく必要があります。また、2012年（平成24年）には「古典の日」が法制化され、市民、特に児童・生徒が古典に親しみや関心を持てる事業の展開を検討していくとともに、2018年（平成30年）の開館20周年に向けて、一層の源氏物語の普及を目指し、市民や来館者、外国人など、誰もが親しめるミュージアムとなるよう努めていく必要があります。

さらに、文化・観光振興に資する施設として、市の関連部局はもとより、教育、文化、観光など幅広い多様な機関と連携するとともに、広報活動や情報発信を積極的に行っていくことが求められます。

目標

本市の恵まれた歴史的、文化的資産を次代へ受け継ぎ、宇治市への理解を深めてもらうため、歴史資料等の調査と収集・保存に努めるとともに、源氏物語を中心とした古典文化の普及を図ります。

目標値・指標値

	現 状 値 (平成24年度)	第2期計画 (平成29年度)	将来展望	備 考
歴史資料館 収蔵資料目録の刊行数	15集	20集	年1冊の刊行と デジタル化	
源氏物語ミュージアム 企画展示数	企画展5回	企画展5回	特別企画展の 開催（5年毎）	夏休み期間中の子ども向け展示 の定例化 2年に1回の目玉企画展の開催
源氏物語ミュージアム 講座開設数	25講座	27講座	30講座	体験型講座の充実 他団体との連携を推進

取組の方向

1 生涯学習・文化施設等の連携

多くの人に宇治市への理解を深めてもらうため、歴史資料館・源氏物語ミュージアム・生涯学習センター・図書館・学校・各種団体等での連携を深め、普及・振興に取り組みます。

2 歴史資料等の調査と収集・保存

歴史的、文化的資産の活用を図るため、資料の調査、収集保存、研究や普及活動に取り組み、資料のデジタル化や効果的なデータ活用に取り組みます。

3 歴史資料館の充実

市民の郷土への愛着心を育むため、歴史資料館における展示等普及活動や学校での郷土学習など幅広い学習活動を展開し、外部施設等へも普及事業の幅を広げます。

4 源氏物語ミュージアムの充実

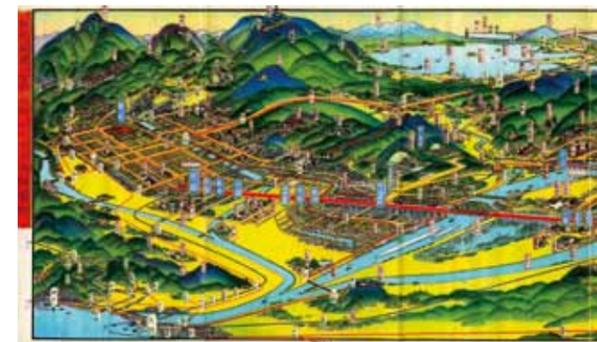
源氏物語を通して古典文化の普及と観光の振興を図るため、源氏物語ミュージアムにおいて、講座・展示内容の充実とともに効果的な情報発信に取り組みます。



源氏物語ミュージアム 宇治の間



源氏物語ミュージアム 平安の間



奈良電気沿線名所図絵（昭和3年 吉田初三郎画）



平成25年度特別展『宇治電』図録表紙

関連部門計画

- 宇治市教育振興基本計画
- 宇治市生涯学習基本計画
- 宇治市将来戦略プラン
- 宇治市観光振興計画